令和2年度　第１回　（令和２年４月～令和３年３月実施事業分）

区民プロデュース支援事業 企画運営団体募集
事業 申請様式

〈事業概要・応募要件等は別紙「企画運営団体募集要項」をご覧ください〉

様式１　団体概要書１　※記入例あり
様式２　団体概要書２（団体名簿）
様式３　企画申請書１　※記入例あり
様式４　企画申請書２（日程、テーマ・内容等）
様式５-①　収支予算計画書 連続講座型事業用　※記入例あり
様式５-②　収支予算計画書 イベント型事業用

申請の際には様式１～５のほか、次の書類を全て提出してください。
（書類不備の場合、受理できません）

① 団体規約・会則
② 前年度収支決算書（または最新年度分）
③ 前年度活動実績（または最新年度分）※事業実績、実施期間や回数、参加数等
④ 広報用周知チラシ（案）

提出締切　１１月２１日（木）１７時締切　　※窓口持参（郵送不可）
【提出先】　新宿文化センター　2階事務所

提出の際、申請書類・内容等の確認を行うため、事前に、担当まで申請の予約をお願いします。

申請様式のエクセルデータをご希望の方は、以下のメールアドレス宛にご連絡ください。

問合せ・提出先

公益財団法人 新宿未来創造財団　文化・学習課　　区民プロデュース支援事業担当
住所：〒160-0022　新宿区新宿６-１４-１　(新宿文化センター内)
TEL: 03-3350-1141　　E-mail: kumin-pro@regasu-shinjuku.or.jp
※担当不在の際は、折り返しご連絡いたします。

記入にあたって

様式3　企画申請書1

会場(施設名・部屋名)について

※会場については、企画内容に沿って、内容や定員など区内の実施可能な施設等で計画してください。
※日程・時間・会場は、申請前に開催候補会場と必ず調整の上、ご記入ください。
※ご利用時は、会場の使用規則に従ってください。
※一部施設の優先予約については、必ずしもご希望に添えない場合がありますので、ご了承ください。

様式5　収支予算計画書

支援額の算出について

1　連続講座型事業（定期継続事業）

活動のための支援金は、1団体あたり、年度内最大20回まで10万円上限額です。
また以下のいずれか低い額が適用されます。

① 事業1回1万円×講座回数で算出した額　（事業回数支援）
② 総支出予定額に、2分の1を乗じて得た額　（事業費の半額を支援）
③ 総支出予定額から総収入予定額を控除した額　（赤字額を支援）
※なお、1人1回あたりの参加料収入の算定基準は300円以上とする。
（教材費、テキスト代、資料代、材料費、保険料等は含めない）
④ 新規・継続各参加者数より算出した参加者1人1回の支援額合計　（各参加者数に応じた支援）
（継続参加者¥200/人×人数×講座回数)＋(新規参加者¥600/人×人数×講座回数)＝合計額
⑤ 年間支援上限額　10万円　（年間支援上限額）

2　イベント型事業（短期事業）

活動のための支援金は、1団体あたり、年度内最大2回まで5万円上限です。
また以下のいずれか低い額が適用されます。

① 総支出予定額に、2分の1を乗じて得た額　（事業費の半額を支援）
② 総支出予定額から総収入予定額を控除した額　（赤字額を支援）
③ 年間支援上限額　5万円　（年間支援上限額）

※費用の計上と参加料の設定は、自主活動とは別々に設定し、管理してください。
また、予算計画について(算定基準)は別紙「企画運営団体　募集要項」7・8頁をご覧ください。

記入例

様式１　区民プロデュース支援事業　団体概要書１（令和2年度　第1回）

受付No

（ふりがな）	しんじゅくけんこうたいそうのかい	設立年月日	昭・平 18年　4月 1日
団　体　名	新宿健康体操の会	会員総数	20名 （令和元年　10月現在）
団体活動の状況	主たる活動の場所 （新宿区内） 施設名：〇〇〇生涯学習館 所在地：新宿区〇〇　1－1－1		
	施設の利用状況 団体登録　（いずれかの□に✔を入れてください）☑ 有　・　□無 有の場合　⇒　1. ＿＿〇〇〇＿＿生涯学習館　2. ＿＿＿＿＿＿＿＿地域センター 3. コズミックセンター　4. 大久保スポーツプラザ　5. 新宿文化センター 6. 新宿歴史博物館　7. その他（ ＿＿＿＿＿＿＿＿ ）		
代表者	氏名 新宿　太郎	TEL 03-0000-0000	
	住所 〒160－0000 新宿区〇〇　1－2－3	FAX 03-0000-0000	
	E-mailアドレス kumin-pro@regasu-shinjuku.or.jp		
連絡担当者 ※E-mailアドレス または FAX必須	氏名 新宿　花子	TEL 03-0000-0000	
	住所 〒162-0000 新宿区〇〇　4－5－6	FAX 03-0000-0000	
	E-mailアドレス kumin-pro@regasu-shinjuku.or.jp		
活動内容 （種目・科目等）	〇〇〇生涯学習館にて月４回程度、講師を招き、地域の方々とストレッチや簡単なリズム運動を行っています。		
発足趣意と 活動目的	老若男女を問わず、定期的に運動することで、健康の増進と、参加者相互の親睦を深めることを目的とし設立しました。地域の方々が気軽に参加できるよう、広く開かれた会とし、さらに、初心者や高齢者でも無理なく続けられるよう工夫し運営しています。		
地域・区民との 相互交流	地域・区民と、どのような交流をしていますか。 地域のイベントや生涯学習館まつり、地域センターまつりなどに参加し、その中で体験教室を開催して、地域の方々が気軽に参加できる機会を設けています。また、随時会員を募集しています。		
参加者獲得のために工夫していること	地域のイベントや生涯学習館まつり、地域センターまつりなどに参加し、日頃の活動紹介を行ったり、周知ちらしを活動施設にて配布し、随時参加希望者を受け入れています。		

様式3　区民プロデュース支援事業　企画申請書1　（令和2年度・第1回）

公益財団法人　新宿未来創造財団　事務局長　殿

記入例

団体名　新宿健康体操の会

代表者　新宿　太郎　　㊞

区民プロデュース支援事業企画運営団体募集要項の内容を理解・了解した上で、以下のとおり企画運営団体として申請します。

申請区分	該当する□に✔を入れてください。
事業形態	☑連続講座型事業（年間最大20回まで）　□イベント型事業(年間最大2回まで)
申請理由 （複数回答可）	☑支援金　☑施設優先予約　☑財団広報紙やウェブサイト掲載等広報周知支援 ☑団体会員募集　□その他（　　）

利用される施設に予め空き状況等を確認してご記入ください。

企画申請内容	該当する□に✔を入れてください。
学習テーマ （複数回答可）	□趣味、□文化芸術、□美術、□音楽、□手工芸、☑スポーツ、☑健康、□語学 □児童青少年育成、□高齢者向け、□国際相互理解、□地域社会、□歴史、□その他（　　）
講座名	⇒広報紙の原稿となります いきいき楽しい健康体操
日程・時間・会場は、**申請前に開催候補会場と必ず調整の上**、ご記入ください。→☑調整実施済	
日　程	○/○(土)　○/○(土)　○/○(土)　○/○(土)　○/○(土)　○/○(土)　○/○(土)　○/○(土)　○/○(土)　○/○(土) ○/○(土)　○/○(土)　○/○(土)　○/○(土)　○/○(土)　○/○(土)　○/○(土)　○/○(土)　○/○(土)　○/○(土)
時　間　・　回　数	□午前・☑午後　3　時　00　分　～　□午前・☑午後　5　時　00　分　全（　20　）回
会場 （施設名・部屋名）	第一希望　　第二希望　　第三希望 施設名（　○○○生涯学習館　）　（　△△△生涯学習館　）　（　　） 部屋名（　○○室　）　（　△△室　）　（　　）
対象年齢・定員	対象年齢（おおむね40歳以上）　定員（20）名、うち新規参加者（5）名
参加料	☑全回分　□半期（　）回分　□（　）回あたり　8，000円
教材費・テキスト代 資料代・材料費 保険料	□なし　□参加料に含む　☑別途徴収　⇒　☑全回分　□（　）回あたり 内容：（□教材費　□テキスト代　☑資料代　□教材費　□保険料）として　500　円
財団広報紙 （Oh! レガス新宿ニュース） 掲載号・募集締切日	掲載希望号　○○月20日号　募集締切日：○○月○○日（○曜日）必着 ☑広報2回目掲載希望（通年実施団体のみ） 掲載希望号　○○月20日号　募集締切日：○○月○○日（○曜日）必着
Oh!レガス新宿ニュース広報原稿（キャッチコピー） ※50字程度	無理のないストレッチやリズム体操で健康へとつなげましょう。初心者や高齢者の方でも安心して参加できます。
当企画のアピール点 [過去に開催したことがある場合は相違点を明確に記入してください]	この講座に初めて参加する方や高齢者などが主体的に参加できるよう、無理のない内容で進めていく。また、新規参加者および会員が相互交流できるよう、ベテラン会員がサポートしていく。

定員：募集人数

多数抽選の場合、掲載希望号(発行日)が募集開始日となります。
先着順の場合、掲載希望号(発行日)の2日後が募集開始日となります。
募集締切日は、開講初日の10日以上前に設定してください。

教材費・テキスト代・資料代・材料費・保険料を別途徴収する場合は別途徴収に☑し、全回分一括して徴収する場合は全回分に☑、分割して徴収する場合は分割に☑してください。また、金額を記入してください。

様式５ 区民プロデュース支援事業 収支予算計画書 （令和2年度・第1回）

別紙「企画運営団体 募集要項」7・8頁 予算計画について（算定基準）参照

記入例

連続講座型事業用

団体名：新宿健康体操の会

※実費（教材費・テキスト代、資料代、材料費、保険料等）については収支に含めないこと。

一般収入の部	予算・積算基礎	予算額（案）	財団記入
参加料収入	参加者 1. 新規参加者 400 円× 5 名× 20 回	¥40,000	
	2. 継続参加者 400 円× 15 名× 20 回	¥120,000	
協賛金・その他			
	※1人1回あたりの参加料収入の算定基準は300円以上とする。 ①収入計	¥160,000	

参加料は支出（特に講師謝礼）とのバランスを考え決定してください。

実費（教材費、テキスト代、資料代、材料費、保険料等）は、参加料から差引いてください。

一般支出の部	予算・積算基礎	予算額（案）	財団記入
諸謝金	講師、補助員等に対する謝礼(単価×時間×回数=金額) 例：講師謝礼@3,500×2時間×20回=140,000円 ボランティア謝礼@1,000×20回=20,000円	¥160,000	
消耗品費	事業運営に必要な消耗品の購入代金 （単価、数量等を記入） 例： 周知チラシ用A4用紙（500枚入） @600×2包=1,200円(税込) 周知チラシ配布用角2封筒(10枚入)@200×4袋=800円(税込) 吊り下げ名札(10枚入)@300×2袋=600円(税込) 写真現像代(報告書添付用)30円×20枚=600円(税込)	¥3,200	
印刷費	周知チラシ作成などにかかるコピー代や簡易な印刷費用(教材・テキスト類は除く) 例： 周知チラシ印刷代@1×1,000枚=1,000円	¥1,000	
使用料及び賃借料	会場利用料 例：○○○生涯学習館 ○○室 @750×20回=15,000円(税込)	¥15,000	
通信運搬費			
交通費			
手数料・その他			
	②支出計	¥179,200	

収入とのバランスを考え講師を選定してください。※講師・助手等の旅費・交通費は諸謝金に含まれます。

現地学習等の実地踏査費用※講師・助手等の旅費・交通費は諸謝金の中に含まれます。

支援額算出欄			
	(1)事業1回1万円× 20 回（講座回数：最大20回）	¥200,000	事業回数支援
	(2)総支出予定額に2分の1を乗じて得た額 （②÷2）	¥89,600	事業費の半額を支援
	(3)総支出予定額から総収入予定額を控除した額 （②－①）	¥19,200	赤字額を支援
	(4)新規参加支援額＝ 5 名×￥600/人・回 20 回=￥ 60,000 継続参加支援額＝ 15 名×￥200/人・回 20 回=￥ 60,000	¥120,000	各参加者数に応じた支援
	(5)年間支援上限額	¥100,000	年間支援上限額
③支援金上限額	財団記入欄 (1),(2),(3),(4),(5) いずれか低い額	¥19,200	

支援金の算定に含めない経費例について

●講師等へのお礼や接待にかかる費用 ●共同で使用する備品・用品等の購入、修繕代 ●準備や打合せの際の会場費や経費

参加料に実費（教材費、テキスト代、資料代、材料費、保険料等）を含んでいる場合

●参加料から実費（教材費、テキスト代、資料代、材料費、保険料等）を差引いた参加料を記入します。

支援金の支払い

●収支予算計画書の③支援上限額を超えての支払はできません。

様式１　区民プロデュース支援事業　団体概要書１（令和2年度・第1回）　受付No

<table>
<tr><td>（ふりがな）</td><td colspan="2"></td><td>設立年月日</td><td>昭・平　　年　　月　　日</td></tr>
<tr><td>団　体　名</td><td colspan="2"></td><td>会員総数</td><td>名
（令和　　年　　月現在）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">団体活動の状況</td><td rowspan="2">主たる活動の場所
（新宿区内）</td><td>施設名</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>所在地</td><td colspan="2">新宿区</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="4">施設の利用状況
団体登録　（いずれかの□に✔を入れてください）□ 有　・　□無

有の場合　⇒　1. ＿＿＿＿＿＿＿＿生涯学習館　　2. ＿＿＿＿＿＿＿＿地域センター
3. コズミックセンター　　4. 大久保スポーツプラザ　　5. 新宿文化センター
6. 新宿歴史博物館　　7. その他（ ＿＿＿＿＿＿＿＿ ）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">代表者</td><td colspan="3">氏名</td><td>TEL</td></tr>
<tr><td colspan="3">住所　　〒　　ー</td><td>FAX</td></tr>
<tr><td colspan="4">E-mailアドレス</td></tr>
<tr><td rowspan="3">連絡担当者

※E-mailアドレス
または
FAX必須</td><td colspan="3">氏名</td><td>TEL</td></tr>
<tr><td colspan="3">住所　　〒　　ー</td><td>FAX</td></tr>
<tr><td colspan="4">E-mailアドレス</td></tr>
<tr><td>活動内容
（種目・科目等）</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td>発足趣意と
活動目的</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td>地域・区民との
相互交流</td><td colspan="4">地域・区民と、どのような交流をしていますか。</td></tr>
<tr><td>参加者獲得のために工夫していること</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

様式２ 区民プロデュース支援事業　団体概要書２　（令和2年度・第１回）

団体名簿（別紙添付でも可）

※団体要件：構成員が10名以上で、その半数以上が区内在住者または区内在勤者であること。
　構成員についての考え方は、別紙「企画運営団体　募集要項」１頁をご覧ください。

	役職名	氏　名	住　所	勤務先名称・所在地 （区内在勤者のみ記入）	電話番号
1	代表者		※代表者は区内在住者または区内在勤者		
2	連絡担当者				
3	会計				
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

様式3　区民プロデュース支援事業　企画申請書1　（令和2年度・第1回）

公益財団法人　新宿未来創造財団　事務局長　殿

令和　　年　　月　　日

団体名

代表者　　㊞

区民プロデュース支援事業企画運営団体募集要項の内容を理解・了解した上で、以下のとおり企画運営団体として申請します。

申請区分　該当する□に✔を入れてください。	
事業形態	□連続講座型事業（年間最大20回まで）　□イベント型事業(年間最大2回まで)
申請理由 （複数回答可）	□支援金　□施設優先予約　□財団広報紙やウェブサイト掲載等広報周知支援 □団体会員募集　□その他（　　）

企画申請内容　該当する□に✔を入れてください。										
学習テーマ （複数回答可）	□趣味、□文化芸術、□美術、□音楽、□手工芸、□スポーツ、□健康、□語学 □児童青少年育成、□高齢者向け、□国際相互理解、□地域社会、□歴史、□その他（　　）									
講座名	⇒広報紙の原稿となります									
日程・時間・会場は、**申請前に開催候補会場と必ず調整の上**、ご記入ください。→□調整実施済										
日　程	/（　）	/（　）	/（　）	/（　）	/（　）	/（　）	/（　）	/（　）	/（　）	/（　）
	/（　）	/（　）	/（　）	/（　）	/（　）	/（　）	/（　）	/（　）	/（　）	/（　）
時　間　・　回　数	□午前・□午後　　時　　分　～　□午前・□午後　　時　　分　全（　　）回									
会場 （施設名・部屋名）		第一希望			第二希望			第三希望		
	施設名（　　）			（　　）			（　　）			
	部屋名（　　）			（　　）			（　　）			
対象年齢・定員	対象年齢（　　）　定員（　　）名、うち新規参加者（　　）名									
参加料	□全回分　□半期（　　）回分　□（　　）回あたり　　円									
教材費・テキスト代 資料代・材料費 保険料	□なし　□参加料に含む　□別途徴収　⇒　□全回分　□（　　）回あたり 内容：（□教材費　□テキスト代　□資料代　□教材費　□保険料）として　　円									
財団広報紙 （Oh! レガス新宿ニュース） 掲載号・募集締切日	掲載希望号　　月20日号　　募集締切日　　月　　日（　　曜日）　必着 □広報2回目掲載希望（通年実施団体のみ） 掲載希望号　　月20日号　　募集締切日　　月　　日（　　曜日）　必着									
Oh!レガス新宿 ニュース広報原稿 （キャッチコピー） ※50字程度										
当企画のアピール点 [過去に開催したことがある場合は相違点を明確に記入してください]										

様式4 区民プロデュース支援事業 企画申請書2 （令和2年度・第1回）

団体名 _____

回	月日（曜日）	テーマ・内容（詳しく）	講師名・学習方法	備　考 講師のプロフィール他
1	月　日（　）		（講座・実技・野外）	
2	月　日（　）		（講座・実技・野外）	
3	月　日（　）		（講座・実技・野外）	
4	月　日（　）		（講座・実技・野外）	
5	月　日（　）		（講座・実技・野外）	
6	月　日（　）		（講座・実技・野外）	
7	月　日（　）		（講座・実技・野外）	
8	月　日（　）		（講座・実技・野外）	
9	月　日（　）		（講座・実技・野外）	
10	月　日（　）		（講座・実技・野外）	

※連続講座型事業で回数が10回以上の場合は次頁も記入してください。

様式4 区民プロデュース支援事業 企画申請書2 （令和2年度・第1回）

団体名 _____

回	月日（曜日）	テーマ・内容（詳しく）	講師名・学習方法	備　考 講師のプロフィール他
11	月　日（　）		（講座・実技・野外）	
12	月　日（　）		（講座・実技・野外）	
13	月　日（　）		（講座・実技・野外）	
14	月　日（　）		（講座・実技・野外）	
15	月　日（　）		（講座・実技・野外）	
16	月　日（　）		（講座・実技・野外）	
17	月　日（　）		（講座・実技・野外）	
18	月　日（　）		（講座・実技・野外）	
19	月　日（　）		（講座・実技・野外）	
20	月　日（　）		（講座・実技・野外）	

様式5−① 区民プロデュース支援事業 収支予算計画書 （令和2年度・第1回）

別紙「企画運営団体　募集要項」7・8頁 予算計画について（算定基準）参照

連続講座型事業用

団体名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

※実費（教材費・テキスト代、資料代、材料費、保険料等）については収支に含めないこと。

一般収入の部	予算・積算基礎	予算額（案）	財団記入欄
参加料収入	参加者 1. 新規参加者　　円×　　名×　　回		
	2. 継続参加者　　円×　　名×　　回		
協賛金・その他			
	※1人1回あたりの参加料収入の算定基準は300円以上とする。　①収入計		

一般支出の部	予算・積算基礎	予算額（案）	財団記入欄
諸謝金			
消耗品費			
印刷費			
使用料及び賃借料			
通信運搬費			
交通費			
手数料・その他			
	②支出計		

支援額算出欄			
	(1)事業1回1万円　×　　回（講座回数：最大20回）		事業回数支援
	(2)総支出予定額に2分の1を乗じて得た額（②÷2）		事業費の半額を支援
	(3)総支出予定額から総収入予定額を控除した額（②−①）		赤字額を支援
	(4)新規参加支援額＝　名×￥600/人・回×　回= 継続参加支援額＝　名×￥200/人・回×　回=		各参加者数に応じた支援
	(5)年間支援上限額　¥100,000-		年間支援上限額

③支援金上限額	財団記入欄　(1),(2),(3),(4),(5)　いずれか低い額	

支援金の算定に含めない経費例について

●講師等へのお礼や接待にかかる費用　●共同で使用する備品・用品等の購入、修繕代　●準備や打合せの際の会場費や経費

参加料に実費（教材費、テキスト代、資料代、材料費、保険料等）を含んでいる場合

●参加料から実費（教材費、テキスト代、資料代、材料費、保険料等）を差引いた参加料を記入します。

支援金の支払い

●収支予算計画書の③支援上限額を超えての支払はできません。

様式5−② 区民プロデュース支援事業 収支予算計画書 （令和2年度・第1回）

別紙「企画運営団体　募集要項」7・8頁 予算計画について（算定基準）参照

イベント型事業用

団体名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

※実費（教材費・テキスト代、資料代、材料費、保険料等）については収支に含めないこと。

一般収入の部	予算・積算基礎	予算額（案）	財団記入欄
参加料収入	円×　名×　回		
	円×　名×　回		
協賛金・その他			
	①収入計		

一般支出の部	予算・積算基礎	予算額（案）	財団記入欄
諸謝金			
消耗品費			
印刷費			
使用料及び賃借料			
通信運搬費			
交通費			
手数料・その他			
	②支出計		

支援額算出欄			
	(1)総支出予定額に2分の1を乗じて得た額（②÷2）		事業費の半額を支援
	(2)総支出予定額から総収入予定額を控除した額（②−①）		赤字額を支援
	(3)年間支援上限額　¥50,000−		年間支援上限額

③支援金上限額	財団記入欄　(1),(2),(3)　いずれか低い額		前払金希望 □ ※希望の場合✔

支援金の算定に含めない経費例について

●講師等へのお礼や接待にかかる費用　●共同で使用する備品・用品等の購入、修繕代　●準備や打合せの際の会場費や経費

参加料に実費（教材費、テキスト代、資料代、材料費、保険料等）を含んでいる場合

●参加料から実費（教材費、テキスト代、資料代、材料費、保険料等）を差引いた参加料を記入します。

支援金の支払い

●収支予算計画書の③支援上限額を超えての支払いはできません。